

大串ひるやす通信

調査なくして発言なしとは公明党の伝統です！会派の政務活動の成果を定例会ごと通信として発行しています。読まれてのご意見、ご感想をお待ちしています！



ページ	コーナー	内 容
1	トップページ	◇ 国民健康保険保険料の引き下げが実現！
2	本会議質問	◇ すべての幼稚園で給食を実施し、食育を！
3	予算総括質疑	◇ 児童虐待のない社会へ！
4	ちょっと教えて	◇ この4年間、何を質問し、何を提案して、何が実現したの
	参 考	① 食育の大切さとは ② 子どもの権利の大切さとは

二期連続の国保料引き下げが実現

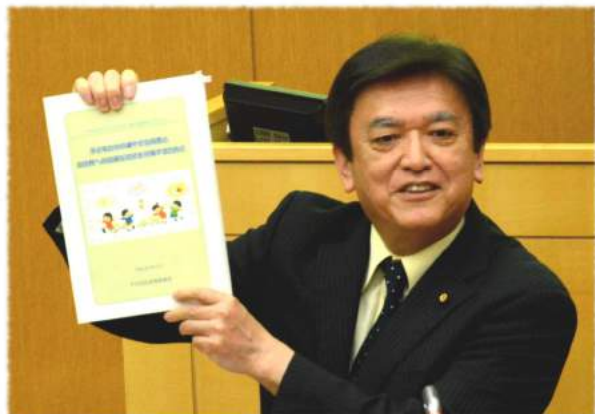


平成31年1月22日、区長へ
「保険料引き下げのため緊急要望」を行う

国保の制度が今年の4月より変わった。一点目は、都と区が共同して国保の保険者となることであり、23区はこれまでの統一保険料方式から各区独自に保険料

率を決めることができるようになった。二点目は区市町村が行ってきた一般会計から国保会計への法定外繰入の解消を国が迫っていることである。国保は国の皆保険制度を支え社会保障としての役割を果たしている。よって、制度設計者である国が制度上・構造上・財政上の措置をまずは行うべきである。この一年、国にその動きはない。法定外繰入を行わなければ保険料の上昇が避けられない。そこで、私たち公明党議員団は昨年に続き「国保保険料引き下げのための緊急要望」を行った。結果、区は昨年度同様法定外繰入を行い、独自の保険料率を定め高所得層を除く約9割の方々の保険料が引き下がることとなった。2年連続の快挙に感謝！

1. 全ての幼稚園で給食を！



平成31年第1回定例会本会議質問
区の「就学前プログラム」を提示して

全ての幼稚園で給食 を実施し食育を！

問 現在、給食が実施されていない幼稚園は、麴町、番町、九段そして御茶ノ水の4園である。当然、栄養士の方もいない。五感が最も発達する乳幼児期に五感を使う食育が必要だ。子どもの健全な発育・発達に食育が欠かせないとされる理由である。行うとなればハード面からは幼稚園専用の調理室の整備が必要であり、ソフト面からは栄養士や調理師の方の配置も必要となり、すぐ給食とはいかないかもしれない。しかし、今後の方向性としては明確にすべきである。所見は。

答 〈教育長答弁〉
幼稚園を含めた就学前の児童の昼食については、食育の観点から、どのようなスタイルがいいのかというのは、多様な考え方があるところだ。現実問題として幼稚園において給食を提供するには、ハード・ソフト両面において困難な課題があり、直ちに実施できるような状況にはない。しかしながら、幼稚園に通う園児の保護者の今日における就労状況や家庭環境の変化などを踏まえると、幼稚園における給食の提供についても、これは前向きに議論を進めていくべきものと私は考えている。

参考①

食育の大切さとは

欠 食や孤食、好きな物ばかりを食べるなどの食の乱れは、子ども達の健全な発育の阻害や、学習意欲の低下、そしてイライラし切れやすい状況などを生み出している。このような状況に、2008年に、保育指針や指導要領に食育が新たに位置付けられた。「食育とは、自ら食べることを楽しみ、皆と一緒に食べる共食を楽しむこと」楽しい食事だ。また、自らの感覚、五感で感じながらの食事だ。食材や作ってくれた人への感謝の気持ちが自然と育つからだ。このことについて、新宿せいが保育園園長の藤森平司氏は以下のように述べている。「普通の保育では、この五感を全部使う活動というのは食事のほかにはない。給食はそれを捕らえる貴重な体験になるものなのです。私たち保育者はそれを十分意識して五感をフルに使わせるような計画とすべきです。現在の給食では『食べる』こと＝結果を優先して、『五感を使うこと』＝過程を軽視してしまっている面があると思います」「子どもたちが五感をフルに使っての食事は、子どもたちが本来持っている『生きる力』を引き出し、伸ばしていくことにつながり、食材や作ってくれた人への感謝の思いも自然に育つ」と。子どもに必要な食育だ。この食育を園や学校では栄養士、調理員そして保育士や教師の方が給食を通して行っている。現在、弁当持参の幼稚園は4園であるが、早期の給食実施が望まれる。

2. 児童虐待のない社会へ！

子どもの権利を記した子ども版
「共育ビジョン」が完成！

要保護児童等ショートステイ
事業がスタート

悲惨な子どもへの虐待事件が後を絶たない。目黒区で船戸結愛ちゃん、野田市で栗原心愛さんは虐待により尊い命を奪われた。もう二度とこのような悲惨な虐待を起こしてはならない。私は平成29年第3回定例会で虐待問題を質問した。平成28年3月に区及び教育委員会が作成した「共育大綱」と「共育ビジョン」は子どもの「人間としての尊厳」と「健やかに育つ権利」があることを宣言し、その権利の保障を目標とした。具体的には「子どもの権利」の視点から、人と人、大人と子どもの関係性の中で共に育つとした。この関係性が重要であるとしたことが最大の特徴だ。(参考2)今こそ、子どもから大人まで皆がこの「子どもの権利」でいう関係性の大切さを認識すべきである。この点、質問で提案した子ども版「共育ビジョン」がこの度完成したことは朗報だ。(4ページ)子どもたち自ら作成したという。子どもの権利をわかりやすく説明している。子どもは勿論、親にとっても宝物だ！

母親が精神的に不安定になった時に数日間、子どもを預かってくれるような場が身近にあったらどんなにいいだろう。そこでは、親以外の大人と質の良い関係性が構築される。そんなショートステイが、31年度よりスタートする。そのリスクの高い保護者の把握は、「ちよまま面談」や「赤ちゃん訪問事業」を通して発見していく。産後ケア事業も29年度から始まっている。発見と対応・保護がそろった。虐待防止へ朗報だ！

参考2

子どもの権利の大切さとは

平成28年、児童福祉法の歴史的な改正が行われた。目的は児童虐待の発生予防と発生時における迅速かつ確な対応である。そのことを確実にするために、子どもといえども一人の人間として尊重され、自分らしく生きていんだよという「子どもの権利条約」の精神をそのまま法の理念として謳ったのだ。この「子どもの権利条約」の中で特に注目すべきは第12条、意見表明権だろう。意見表明権とは、どんなことでもこの人なら絶対に安心して問いかけをし、意見表明をすることができるという人間関係であり、子どもの存在をそのまま受け入れられる関係を意味する。そしてこの「人間的なつながり」があってこそ、一人の大人として成長できるのだということが子どもの権利条約の本質であり、教育の原点でもある。子どもは関係性を求めているがゆえに、大人はこの12条という人間関係を築く責任がある。この点、子どもたちが作成した「子ども版の共育ビジョン」は子どもの権利条約の内容をわかりやすく書いたものであり、保護者を始め私たち大人も是非読んでいきたい。

子どもの虐待防止には

- ① 子どもの権利の普及・啓発
→ 子ども版「共育ビジョン」
- ② 早期発見と対応・保護
→ 産後ケア事業
→ 要保護児童ショート



ちょっと載せて

この4年間、何を質問し、何を提案して 何が実現できたの？

・赤字は実現した項目

定例会	本会議にて質問し、提案したもの	実現しました！
31年1回 定例会	・全ての幼稚園で給食を実施し食育を！ ・ 国民健康保険料の引き下げを！	・平成31年度約9割の方の国民健康保険料の引き下げへ（トップページ写真）
30年4回 定例会	・プラスチックごみの削減へ資源循環型社会の構築を！	
第3回 定例会	・命に関わる猛暑や巨大化する台風への対策を！温暖化対策とヒートアイランド対策を問う	
第2回 定例会	・ 人生いきいき100年時代を目指して、フレイル予防の推進を提案 ・対話型美術鑑賞の実施を提案	・健康づくりまた介護予防をフレイル予防の観点から体系化（平成31年度）
第1回 定例会	・オリパラ大会を契機にスポーツマンシップの考え方を普及・啓発すべき ・ 国民健康保険料の引き下げを！	・平成30年度約9割の方の国民健康保険料の引き下げへ
29年4回 定例会	・乳幼児の保育・教育の質について ・療育費の無償化を！	
第3回 定例会	・ 子どもの権利の普及・啓発を！ ・ 要支援児童の区内ショートステイ事業を提案	・子ども版の共育ビジョンの作成(写真4) ・区内ショートステイ開始
第2回 定例会	・地域包括ケアシステムの構築へ ・サ高住を整備せよ ・ 住民主体の防災へ防災士育成を	・防災士資格の取得に補助（平成30年度より）(写真3)
第1回 定例会	・ごみの減量に2Rの推進を提案 ・食品ロスの削減を！	
28年4回 定例会	・都市と農山漁村のあり方について、地方との連携・交流の方針 策定を提案する	・都市と地方との連携についての方針を策定(平成30年度)
第3回 定例会	・ひらがなのまちづくりを！ ・都市マス改訂の方法は ・まちづくりサポーター養成を！	
第2回 定例会	・ 妊娠、出産、産後ケア、子育ての切れ目ない支援を！ ・総合母子保健センターを提案	・産後ケア事業がスタート（平成29年度から）
第1回 定例会	・生涯学習社会を目指して！ちよだ生涯学習カレッジ設立の目的は	・地域と学びとコーディネーター養成コースできる
27年 第4回 定例会	・健康長寿のまち千代田を目指して！健康長寿のための予防型の仕組みをどう確立するのか	
第3回 定例会	・クラウドファンディングの大いなる可能性！ ・幸福度調査の実施を提案	
第2回 定例会	・ 子どもの遊び場として九段衆議院宿舎跡地の暫定利用を！ ・地区防災計画の作成を提案	・「ふじみこどもひろば」としてオープン(平成28年度から)(写真1,2)



ふじみこどもひろば（写真1）



園庭として利用している保育園の園長からお話を聞く(写真2)



防災士資格取得講座（写真3）



子ども版共育ビジョン（写真4）

編集後記 第76号は、食育の大切さと児童虐待防止について質問したその内容を書きました。ご感想をお待ちしています！